

平成18年度第4回中原区区民会議

平成18年度第4回中原区区民会議が開催されました。

当日は「平成18年度の区民会議を振り返って」として、第1回「地域で支える高齢社会」、第2回「地域の安全・安心をどう守るか」、第3回「地域の中の商店街」のテーマごとに区民会議後の地域での取り組みの広がりについて活発な議論が交わされました。

会議の内容は次のとおりです。

日時・会場など

平成19年3月14日（水）午後2時から午後4時まで

中原区役所5階会議室

会議の傍聴人 11人

会議次第

- ・開会
- ・会議録確認委員の選任
- ・議題「平成18年度の区民会議を振り返って」～地域での取り組み報告と意見交換～
- ・閉会

主な委員意見

＜第1回「地域で支える高齢社会」～高齢者の健やかな生活を地域でどう支えるか～＞

- ・「福祉の心を共に学びましょう」といった講座を開催した。区内77町会のほとんどで高齢化が進み、世代交代が進んでいない。3回のテーマすべてに共通することだが、安心・安全なまちづくりもすこやか活動も若い人が一緒に活動しないと成功しない。また、団塊の世代も何とか町会に取り込みたい。区にシニアの相談窓口を作って、地域デビューの支援をしてほしい。

→これから団塊世代が地域や家庭に帰ってくる。他方で、地域も人材を求めている。市ではシニアの能力を地域に生かす取り組みを行っているが、区も取り組んでいきたい。また、区では、各団体の活動状況を紹介できるよう「市民活動支援サイト」の立ち上げを計画している。登録希望を募ったところ、約300団体から申し出があった。運営については、まちづくり推進委員会と協議しながら考えていきたい。地域活動をしている人のサイト上のたまり場となるよう、つくっていききたい。（区長）

- ・PTAで「おやじの会」をつくったり、「とどろき水辺の楽校」や地域教育会議に参加したりして、若いうちから地域に関わっている人もいる。
- ・社会福祉協議会でボランティアを募集してもなかなか地域に根づかない。地域で募集

して、地域で育てることが大切だと思う。

- ・丸子町会では、輪番制で町会の役員が回ってくる。新しい人が参加すると、新しい意見が出る。素晴らしい人が町にいることに気づくことがある。
- ・文化協会でも高齢化が進み、区によって意識の持ち方に差がある。しかし、最近では、他区のいい所を採り入れようと意見が活発になってきている。
- ・50 歳以上を“シニア”と呼ぶことに抗議したい。みんな現役。この世代は自分たちで考えてやってきた世代なので、強制されると反発するが、魅力的なものには飛びつく世代。自分の興味に没頭する人が多く、いかにそのエネルギーを地域に向けるか。受け入れる側は、ただボランティアを求めるだけでなく、魅力的な計画をつくってボランティアにつなげる必要があるのではないか。
- ・区民にどんな活動をしたいのか、一度アンケートをとったらどうか。
- ・高齢者を地域に出すことを考えなくてはならない、と思っている。特に一人暮らしで家に閉じこもっている高齢者をいかに地域に引っ張っていくか。何かの役に立ちたいと思っている高齢者は多く、また私たちも元気な高齢者の姿を見たい。
- ・地域ではいろいろな活動がある。団塊の世代には自分から探すような高齢者になってほしい。活動の中で楽しみも見つかるし、友達も増える。
- ・高齢者の一人暮らしだと地域に出にくい。家に閉じこもったままだと、認知症にもなる。知っている人がいたりすると出てくるので、知り合いを経由するしかないのではないか。お互い心が通じ合うと出て行くようになる。その心得の教育を社会福祉協議会が行っている。
- ・地域に出てこない人をどのように出てくるようにするかが、一番の課題。どんなに出たくない人にも、一人や二人友達がいる。その人たちに協力を求めたりして、地道な努力を重ねていくしかないのではないか。

＜第2回「地域の安全・安心をどう守るか」～子どもの見守り活動を中心に～＞

- ・商店街連合会に小学校から不審者情報が寄せられることがあり、商店街会長へ知らせるようにしている。「こども 110 番」への取り組みも、商店街連合会としてこれからきめ細かくやっていきたい。
- ・子どもの安全・安心の確保については、青少年指導員やPTAだけでなく、地域の協力が必要と実感している。
- ・青少年指導員、PTA、学校とで情報交換会を開催し、子どもの見守り活動について話し合っている。「こども 110 番」を掲げる所に、今まで事件性をもって子どもが飛び込んだ事例はないと聞いている。「こども 110 番」が一つの抑止力になっているのではないか。
- ・小学生は犯罪に狙われやすいので、あいさつ運動が普段から大きな声を出すきっかけとなって広がっていけばいいと思う。「子育てサロン」を現在区内 14 箇所で行ってい

るが、子育て中の保護者も安心できるよう、見守り活動を続けていきたい。

- ・小杉町2丁目町会では交通安全運動がきっかけとなり、犯罪防止について考えるようになった。例えば、犯罪防止を呼びかけるのぼり旗を作って、地区の役員の家先に立てれば、犯罪抑止力につながるのではないかな。
- ・小杉町2丁目町会では、第2・4木曜日の朝7時半から8時にかけて登校パトロールを交通安全と防犯を兼ねて実施している。ベストを着ていてパトロールしていると、車道を歩いていた小学生がベストに気づいて歩道に上がることがある。また、町会で防犯マップを作った際に防犯マップの必要性を感じた。
- ・私の地域では、学校と地域が一緒になって町の清掃活動をしている。そうするとあいさつが生まれてくる。生徒が地域に戻っていると感じる。児童と地域が顔見知りになると犯罪がでにくくなる。

＜第3回「地域の中の商店街」～地域と商店街の新たな連携を考える～＞

- ・昨日の中原区商店街連合会理事会にて、第3回区民会議の活動報告ビデオや資料、会議内容について報告した。これまで商店街について意見を聞くような機会はなかった。これからの商店街は、子育てや高齢者に対するサービスなどについてもニーズが高まっている。地域の商店街が生き残っていくためには、それらに応えていくことが必要。商店街発展のためにもできることからやっていきたい。小杉駅周辺の再開発による新住民が消費者になってもらえるよう、既存の商店街が施策を構築しているところである。行政にも支援いただきたい。
- ・来月4月1日に第1回「丸子・小杉桜まつり」が開催されることになり、新丸子地区の8商店街が全体として一つのイベントができたことはうれしい。
- ・区民会議の半分くらいの委員については、どのような活動をしているか知らないので活動訪問をしたいと思っている。
- ・車で出掛ける人のための駐車場確保についても商店街で考えてもらえるとありがたい。
→商店街が駐車場を確保するのは、物理的に非常に難しい問題。
- ・最近、駅から徒歩10分くらいの所に引っ越した。駅まで歩くようにしたところ、新しい発見があった。健康や自転車問題解決のために「歩こう運動」みたいなことを実施したらどうか。
- ・地域の商店街の会長に第3回区民会議の報告をしたところ、1カ月後、商店街の会館で地域の小学6年生の版画展を行うことになった、とチラシをもらった。これから地域と関わりを持って何をしていくか考えている、と言っていたので、この会議から生まれたものと思った。
- ・企業が、子育てや高齢者について現在どのような取り組みを行っているかについて知りたい。
→今後の会議のテーマとしてもよいのではないかな。(区長)

→労働組合としてライフワークバランスを保つよう、企業に働きかけをしているところである。

- ・駅の周辺には店がたくさんあるが、少し離れると寂れてしまっている。高齢者が駅まで行くのはなかなか大変。今まで地域と商店街との話し合いの場がなかった。高齢者が買いやすくなる工夫を考えるような話し合いを一緒にしていきたい。

<その他意見>

- ・区民会議の存在を知らない人がかなりいるように感じる。大勢の人に分かるようにしていきたい。
- ・昨日の区商店街連合会理事会にて、区民会議で商店街をテーマに取り上げてもらったことに対して、また会議での多くの意見に対してよい励みになったとの声があった。4月1日の「丸子・小杉桜まつり」にはぜひ大勢来てほしい。みなさんの顔を見せてもらうことが、商店街の勇気につながる。

<連絡事項>

- ・3月28日、平成18年度中原区区民会議の市長及び区長あての報告会を予定。